

事業報告

教育事業

「アクティブ・ジオキャンプ2021」



令和3年7月25日(日)～8月7日(土)
 【参加者】小学生11名 中学生3名 合計14名
 【場所】国立磐梯青少年交流の家
 松原キャンプ場 のうば 中川牧場
 宇川ブルーベリー園 天授ファーム



○事業趣旨

- (1) 子供たちの健やかな成長に必要な強い心と体を育てるために、「食育」と「運動習慣づくり」のアプローチから基本的生活習慣の醸成を図る。
- (2) 磐梯朝日国立公園を中心とした立地条件を生かした冒険的な活動を通じて、仲間と協働して困難を乗り越えるために技術や精神を培い、達成感を味わいながら、長期キャンプの魅力を発信する。

○参加者内訳(計14名)

	小5	小6	中1	中2	中3	合計
男子	5	3	1	0	1	10
女子	3	0	0	0	1	4
合計	8	3	1	0	2	14

○活動日程

	期日	内容	特色
ジオ チャレンジ	7月25日(日)～ 7月26日(月)	【ジオチャレンジ】 ・磐梯山ジオパークについて 講話・実験 ・裏磐梯火口探検	□ 磐梯山ジオパークについての学習、体験活動を行います。
ネイチャー チャレンジ	7月27日(火)～ 8月3日(火)	【ネイチャーチャレンジ】 ・三山登山体験 ・シャワークライミング体験 ・サイクリング ・カヌー体験 ・食育体験	□ 磐梯山・安達太良山・一切経山で登山を行います。 □ 小野川不動滝で沢登り体験をします。 □ 檜原湖周辺でサイクリングやカヌー体験をします。 □ 磐梯地域周辺でできた食べ物の収穫体験をします。
猪苗代湖 チャレンジ	8月4日(水)～ 8月7日(土)	【猪苗代湖チャレンジ】 ・猪苗代湖1周ウォーク ・まとめ、発表会	□ 猪苗代湖一周を3日間で歩きます。 □ 活動全体を通した振り返りをします。

○活動トピックス

○ジオチャレンジ(7/25～26)

「アイスブレイク、目標設定」

出会いの会の後、ボランティアと共に、交流の家職員によるアイスブレイクを行った。今年度は、初めて参加する参加者が多くいたこともあり、初めのうちは緊張していた子が多かった。アイスブレイクをきっかけに、その後の活動では、知らない子たちとも関わろうとしたり、活動班で協力し合ったりと積極的な姿勢が徐々に参加者から見られた。また、自分の活動班の仲間をほとんどの参加者がアイスブレイクを通じて覚えることができた。

その後、参加者はアクティブ・ジオキャンプ期間中の個人目標や活動班の目標を立て、横断幕に書き写した。参加者からは、「仲間と協力し合い、一所懸命頑張りたい。」「最後まであきらめずに頑張る。」など、2週間のキャンプに対する高い意欲が感じられた。



「磐梯山噴火・ジオパークについての講話、磐梯山ジオラマ作り」

今年度も磐梯山噴火記念館の佐藤公館長、磐梯山ジオパーク協議会の方々の協力をいただき、映像資料による火山の解説や噴火に関する模擬実験、磐梯山のジオラマ作りなどを行った。また、火山に関する話だけでなく、昨今の台風や大雨による自然災害についても解説いただいた。振り返りでは、「噴火や岩なだれがどうして起こるのかを知ることができた。」や「火山の恐ろしさだけでなく、美しさについて知ることができた。」などの感想が参加者から挙がった。翌日以降の活動に向けての関心や意欲を高めることができた。

事業報告

教育事業

「アクティブ・ジオキャンプ2021」



令和3年7月25日(日)～8月7日(土)
【参加者】小学生11名 中学生3名 合計14名
【場所】国立磐梯青少年交流の家
松原キャンプ場 のうのば 中川牧場
宇川ブルーベリー園 天授ファーム

「噴火口探検と五色沼散策」

磐梯山ジオパークガイドの田島一博氏から解説をいただきながら、噴火でできた磐梯山噴火口や銅沼、五色沼周辺を散策した。

ガイドの方から、噴火により「岩屑なだれ」が起こり、「流れ山」や桧原湖・小野川湖などの堰き止め湖ができたことを知ると、自然の力の大きさを実感する様子が見られた。前日の講話で聞いた、噴火がもたらす威力や美しさという自然の持つ二面性を改めて感じていた。

疲れた様子が見られた参加者もいたが、振り返りでは、「磐梯山の噴火によってできた風景は、昔の噴火の様子を今に伝えていることがわかった。」や「山を見て、地震や噴火の大きさがわかった。」など、自然豊かな景色や自然の雄大さに触れている参加者が多数いた。



○ネイチャーチャレンジ(7/27～8/3)



「自然散策、一切経山登山、磐梯山登山」

今年度は研修指導員の大竹力、大竹かおる両氏の指導のもと、施設周辺の自然散策(台風接近の影響により、安達太良山登山の予定から変更)、一切経山と磐梯山の登山を行った。

自然散策では、交流の家周辺の植物の観察を行った。また、研修指導員の方から、歩く際の装備や注意点などを中心に指導していただいた。活動を通じて、参加者に翌日以降の登山活動への意欲を高めたり、安全管理の意識付けをしたりすることができた。

一切経山と磐梯山登山では、参加者からは時折疲れた様子も見られたが、全員無事に登頂することができた。また、活動班を中心に励まし合う声かけも増えた様子から、全体的な成長が見られた。振り返りでは、「一切経山の登山の時に、食虫植物があることにおどろいた。」「磐梯山は、表と裏で見える景色の違いが見てわかった。」など、自然体験を通じて、様々な発見をした参加者が多く見られた。

「小野川不動滝シャワークライミング」

川での活動ということで、水の事故やけがなどの危険を伴うことをしっかりと認識させ、準備運動を行った。また、ライフジャケットやヘルメット、マリンシューズなどの正しい装着の方法を指導し、活動を開始した。活動の際には、仲間に動きやすい石の存在などを知らせたり、助け合ったりするとお互いに安全に気をつけようとする姿が見られた。「険しい道を歩き切ることができてよかった。」など達成感を味わえた様子が多数の参加者から伺えた。



事業報告

教育事業

「アクティブ・ジオキャンプ2021」



令和3年7月25日(日)～8月7日(土)
【参加者】小学生11名 中学生3名 合計14名
【場所】国立磐梯青少年交流の家
松原キャンプ場 のうのば 中川牧場
宇川ブルーベリー園 天授ファーム

「カヌー、湖水浴、サイクリング体験」

裏磐梯松原湖で2日にわたり、カヌー・湖水浴・サイクリング体験を行った。カヌーでは、パドルの持ち方や漕ぎ方の指導を受けてからカヌーに乗って湖岸周辺を回るカヌー体験を行った。最初はカヌーの操作に苦戦している参加者が多く見られたが、次第に前後の2人で息を合わせ協力して漕ぐことがポイントだと気づき、声を掛け合いながら上手にカヌーを進められるようになった。

湖水浴では、安全に留意しながらも、思い切り楽しんで、コロナ禍による自粛のストレスを発散している様子も見られた。

サイクリングでは、少し遅れてしまう参加者もいたが、仲間同士で声を掛け合いながら全員でゴールをすることができた。2日間とも天候に恵まれ、先日登ったばかりの磐梯山を眺めながら、全てのプログラムを予定通り実施できた。

「食育体験プログラム(場所：中川牧場、宇川ブルーベリー園、のうのば、天授ファーム)」

今年度から新たに取り入れた食育体験プログラムでは、地元農家のご協力のもと、生産者の方々の仕事への想いや工夫について話をしたり、収穫体験をしたりした。

また、収穫体験でいただいた作物を使って、野外炊飯(カレーライス、冷製サラダ麺作り等)を行った。活動を通じて、普段野菜が苦手な参加者も進んで食べたり、農作物への関心を示したりする参加者が多く見られた。

振り返りでは、「農業は、水・大地・空気・日光・栄養・人の手間で作れることがわかった。だからこそ、食材を残さないようにしたい。」や「伝統野菜と普段食べている野菜を比べて、野菜の品種が違っただけで味や食感が全然違うことがわかった。」など、食べることの大切さや農家の方々の工夫等について多く挙がった。

〇猪苗代湖チャレンジ(8/4～8/7)

「猪苗代湖一周チャレンジウォーク」

仲間と協働して困難を乗り越えるために技術や精神を培い、達成感を味わうことをねらいにして、今年度は2年ぶりに猪苗代湖一周チャレンジウォークを実施した。今年度は猛暑や荒天の影響を考慮して、猪苗代湖周辺の道のり約67kmを3日に分けて歩いた。



事業報告

教育事業

「アクティブ・ジオキャンプ2021」



令和3年7月25日(日)～8月7日(土)
【参加者】小学生11名 中学生3名 合計14名
【場所】国立磐梯青少年交流の家
松原キャンプ場 のうば 中川牧場
宇川ブルーベリー園 天授ファーム

1日目は、交流の家から秋山浜キャンプ場まで歩く予定だったが、猛暑の影響で、参加者の体力の消耗が非常に激しかったため、1日目のゴール地点を秋山浜キャンプ場から中ノ沢に変更した。約27kmという長い距離を歩いた影響で途中、1人体調不良になったが、全体的に隊列から遅れる参加者もなく、予定通り初日のゴール地点の中ノ沢に到着した。



2日目は、中ノ沢から会津レクリエーション公園まで約26kmの道のりを歩いた。昨日より、アップダウンが激しいコースで、参加者からは疲れや足の痛さなどが見られたが、友達と声を掛け合いながら、一生懸命前に進む姿が見られた。

3日目は、会津レクリエーション公園から交流の家までの残り約14kmの道のりを力強く歩いた。参加者からは前日までの疲れや足の痛さなどが見られたが、最後は笑顔で仲間達とゴールすることができた。ゴールの際は、肩を掛け合ったり、手をつないだりして全員でゴールした。参加者達はゴールできたことを全員で喜び合い、その様子からは充実感と達成感が溢れていた。振り返りでの、「ゴールした時にとても達成感があった。」や「最後まで歩くことができて感動した。」などの声からも伺えた。



「発表会・スライド上映・アクティブ・ジオキャンプ2021修了証書授与」

最終日は、はじめにアクティブ・ジオキャンプで学んだことや今後に活かしていきたいことなどについて、作文にまとめ、発表会を行った。「家に帰ったら手伝いをする。」や「学校でもこの経験を生かしてリーダーシップを発揮する。」など、参加者の多くが今後の生活に活かしていこうという意欲を感じた。

次にアクティブ・ジオキャンプの活動を振り返るスライド上映を行った。2週間という長期キャンプで困難な活動を乗り越えたことや楽しかったことなど、様々な思い出を振り返っている様子が見られた。

別れの会では、一人一人に修了証書を授与した。参加者の表情から、2週間の活動をやり切ったという達成感や充実感が感じられた。また、友達との別れを惜しむ様子が見られた。別れの会の終了後や発表会の際には、参加者から「また来年も参加したい。」という声が多数挙がった。



事業報告

教育事業

「アクティブ・ジオキャンプ2021」



令和3年7月25日（日）～8月7日（土）
【参加者】小学生11名 中学生3名 合計14名
【場所】国立磐梯青少年交流の家
松原キャンプ場 のうば 中川牧場
宇川ブルーベリー園 天授ファーム

○事業アンケートより 「アクティブ・ジオキャンプ2021」について（参加者 計14人）

①全体的にこのキャンプはどうでしたか。

とてもよい	よい	あまりよくない	よくない
10	4	0	0

②いろいろなプログラムの活動はどうでしたか。

とてもよい	よい	あまりよくない	よくない
11	3	0	0

③交流の家の人はどうでしたか。

とてもよい	よい	あまりよくない	よくない
11	3	0	0

④ボランティアのお兄さん・お姉さんはどうでしたか。

とてもよい	よい	あまりよくない	よくない
14	0	0	0

⑤このキャンプに来てよかったですか。

とてもよかった	よかった	あまりよかった	よくなかった
12	2	0	0

⑥またこんなキャンプがあれば参加したいですか。

ぜひ参加したい	参加したい	あまり参加したくない	参加したくない
10	3	1	0

○参加者の感想

- ・ とても楽しい体験ができたので、来年も参加したい。
- ・ 最初は不安ばかりだったけど、どんどん友達ができてよかった。
- ・ とてもメンバーが愉快で楽しかった。
- ・ 初めて会った人や前に会った友達と仲良くできてよかった。来年も参加したいと思う。

○成果（○）と課題（▼）

○アンケート結果もある通り、全体的に参加者から高い満足度を得ることができた。

○今年度は福島県限定の募集となったが、参加者にとっては、地元について知る機会になった。

○思い切り野外活動することで、コロナ禍の自粛のストレスを発散できる良い機会であった。

○食育体験プログラムは初めての試みであったが、活動の様子や参加者の感想から、活動を通じて食べる量が増えたり、苦手な食べ物でも食べることができたりすると感じる参加者が多く見られた。

▼3日目に台風の直撃の心配があったため、施設周辺での活動に変更したが、仮に野外での活動が全くできない場合は、ビジターセンターや磐梯山噴火記念館での見学などの活動も視野に準備をしていく必要があると感じた。

▼今年度は、3年ぶりに2週間の長期キャンプの実施となったが、実施前やキャンプの前半に不安になる参加者や家族が存在した。特に長期キャンプの場合は、事前説明会の開催や事前キャンプの実施等の手立てが必要であると感じた。

▼体調不良により、全日程参加できなかったことで自信や意欲をなくしてしまった参加者がいた。